

| 事例 No. | 41 | 人口規模 | 80万人以上 | 地域ブロック | 関東 | 事業タイプ | 交流イベント | 事業主体 | 任意団体 |
|---|--|------|--------|--------|--|-------|---|------|------|
| 事業名 | いばらき出会いサポートセンター推進事業 | | | | | | | | |
| 実施地方公共団体名 | 茨城県 | | | | | | | | |
| 特徴・ポイント | 少子化対策のため、県が開設した「いばらき出会いサポートセンター」を拠点として、会員登録制の結婚相談事業やふれあいパーティーの開催、マリッジサポーター(地域の世話役として結婚相談、仲介等を行うボランティア)の活動支援等を、市町村、団体、企業、ボランティアと連携して全県的に展開している点。 | | | | | | | | |
| 事業のねらいと内容 | <p>【ねらい】 「いばらき出会いサポートセンター」を拠点に、結婚を希望する男女を対象として、地域・職域を越えた出会いの場を提供するとともに、市町村・団体・企業・ボランティア等と連携して、全県的な結婚支援活動を展開し、少子化の大きな要因である未婚化・晩婚化の流れを変える。</p> <p>【内容】 1 いばらき出会いサポートセンターの運営 2 実施事業 結婚相談事業(個人会員の登録、パートナー紹介、ふれあいパーティーの実施(異業種交流、市町村等との共同開催)) 結婚支援事業(「マリッジサポーター」の活動支援、賛助会員(企業・団体等)の募集) 出会いをサポートする人材の育成(出会いの場コーディネーター養成講座の実施)</p> | | | | | | | | |
| 導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性) | <p>H14 年度から「エンゼルパーティ」を開催し、市町村等でも、少子化対策や農業後継者対策を目的に独自の対策に取り組んできた。しかしながら、これらの取組においては、参加者の確保が難しいことなど、なかなか結婚にまで至らない状況にある。また、出会いの相談や仲介を行う地域の世話役が少なくなり、地域における若者の交流や出会いを支援する機能も低下している。</p> | | | | 導入・実施に際して苦労した点 | | | | |
| 事業の効果 | <p>【18 年度実績(H19.2.15 現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人会員数 1,310 名 結婚相談事業(お見合い 436 組、交際開始 150 組、交際中 45 組、結婚 39 組) ふれあいパーティー(18 回開催、参加者数 1,323 名、カップル 88 組誕生) マリッジサポーター 308 人 | | | | <p>実施にあたってのネックをどのように解決したか</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに創設したマリッジサポーターの確保 関係団体等へ直接訪問するなど積極的な働きかけを行い、人材を掘り起こす。 ふれあいパーティーの開催方法 市町村や関係団体との共同開催、参加協力要請等により、参加者を確保。ホテル、結婚式場等民間企業との連携により、パーティーの企画内容を魅力アップ。 | | | | |
| 事業のアピールをどのように行なったか | <ul style="list-style-type: none"> 各種広報媒体の活用(県域デジタルTV、県広報紙「ひばり」、市町村広報紙、マスコミの利用) 関係団体や企業等への個別訪問 | | | | | | | | |
| 必要な協力先・実施主体とその確保策 | <p>(必要な協力先)市町村、団体、企業、ボランティア、一般県民(確保策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村担当課長等会議や直接訪問等による働きかけ 県・市町村・団体の広報紙等各種広報媒体を活用して募集 各種会議等へ積極的に出席して説明、協力依頼 | | | | | | | | |
| 概算事業費 (千円/年度) 平成 18 年度予算 | <p>38,676 千円 < 内訳 > 都道府県補助金: 24,280 千円 その他: 14,396 千円(具体的名称:(社)茨城県労働者福祉協議会及び市町村の負担金、会費)</p> | | | | 問い合わせ先 | | <p>所属部署:茨城県保健福祉子ども家庭課 TEL:029-301-3261 FAX:029-301-3269</p> | | |